広告は新たな時代への門だ。
JAPAN ADVERTISING FEDERATION IN
KANAZAWA 2023

全広連創立 70 周年記念
第 71 回 全日本広告連盟金沢大会事務局

〒920-0919 金沢市南町 2-1 北國新聞会館 2 階
TEL : 076-213-8015 FAX : 076-213-8016
E-Mail : kanazawa2023@kcs-inc.jp

広告は新たな時代への門だ。
JAPAN ADVERTISING FEDERATION IN
KANAZAWA 2023

全広連創立70周年記念
第71回 全日本広告連盟金沢大会
2023年5月17日㈬ ～ 18日㈭

REPORT
大会報告書

主催 : 第 71 回全日本広告連盟金沢大会組織委員会
公益社団法人 全日本広告連盟

[第 71 回全日本広告連盟金沢大会 概要]

日 時

2023年
5月17日（水）／9:00～

大会会場

■ 大会式典・記念講演・トークセッション
石川県立音楽堂コンサートホール

■ 昼食・懇親会
ANAクラウンプラザホテル金沢

第71回全日本広告連盟金沢大会（同大会組織委員会、公益社団法人全日本広告連盟主催）は5月17日、金沢市の石川県立音楽堂を主会場に行われました。「広告は新たな時代への門だ。」を大会テーマに全国から集まった広告・マスコミ関係者らは、時代をつくる広告の力を再認識しました。

● 大会マーク・テーマ

KANAZAWA
2023

広告は新たな時代への門だ。

新しい時代のゲート

■ 鼓門をモチーフに象徴的なゲートで表現。
■ 時代を経て受け継いで来た節目、金沢の今の象徴。
（律令国家体制下での加賀國立国千二百年）
■ 未来の入り口、未来が生まれてくるゲート。
北陸新幹線石川県内全線開業の象徴でもあります。

- ゲート中央の金色＝新たな時代。未来。
- ▲▼＝方向性を指し示す記号。未来に向かう。
- ▲の集合＝さまざまな意志が金沢に集結する。

という意味を込めています。

PROGRAM
大会プログラム

1日目

9:45 ■ オープニングアトラクション／金沢素囃子

10:00 ■ 開会宣言

1）第71回全日本広告連盟金沢大会組織委員会
実行委員長 **福光 松太郎**

2）歓迎のあいさつ
第71回全日本広告連盟金沢大会組織委員会
大会長 **砂塚 隆広**

3）大会あいさつ
公益社団法人全日本広告連盟
理事長 **大平 明**

4）来賓祝辞
石川県知事 **馳 浩** 様
金沢市長 **村山 卓** 様

5）第11回全広連日本宣伝賞表彰
6）第2回鈴木三郎助全広連地域広告大賞表彰
7）次年度開催地紹介とあいさつ

11:15 ■ 大会記念講演
演題「**戦国を生き抜いた武将たち**」
講 師 **安部 龍太郎** 氏（直木賞作家）

12:15 ■ 昼食／会場：ANAクラウンプラザホテル金沢

13:30 ■ 全広連創立70周年記念トークセッション

15:30 ■ 閉会

18:30 ■ 懇親会／会場：ANAクラウンプラザホテル金沢

2日目

■ 視察・見学会
■ 懇親ゴルフ会

歓迎のあいさつ

第71回全日本広告連盟金沢大会組織委員会大会長

砂塚 隆広

金沢で全日本広告連盟の大会が開かれるのは8年ぶりです。リアルの開催としては4年ぶりとなるフルスケールの大会です。8年前の金沢大会では、北陸新幹線の金沢開業という、当地にとりまして100年に1度のビッグイベントを迎えた年でした。今回は、加賀の国が誕生して1200年の節目であり、1年後には北陸新幹線が石川県内で全線開業し、福井県敦賀市まで延伸するのを控えています。

今大会のテーマは「広告は新しい時代への門だ。」としました。この門（ゲート）とは、金沢駅を象徴する兼六園口にある鼓門をイメージしたものです。鼓門とガラス張りのもてなしドームは、今や金沢の玄関口の顔になっており、米国の旅行雑誌ランキングで「世界で最も美しい駅14」に選ばれるなど、海外でも知られる建造物のひとつです。

この鼓門にあやかったテーマには、人々の価値観が多様化し、世界情勢が目まぐるしく変化する中、新しい時代の入り口であるゲートをくぐって、未来まで映し出す広告の力と可能性を見いだす大会にしたいとの思いを込めています。この大会が、次の時代にふさわしい広告のあり方やあるべき姿を考える機会となれば幸いです。

大会あいさつ

公益社団法人全日本広告連盟理事長

大平 明

第71回全日本広告連盟金沢大会に全国より多数、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。全日本広告連盟は創立70周年を迎えることができましたのも、全日本広告連盟を長きにわたって支えをいただいてきた皆様のおかげだと思っています。また、70周年という記念すべき年に、先日までG7富山・金沢教育大臣会合が開かれるなど、国際都市として発展する金沢で開催できましたことをうれしく思います。

今、広告業界は大きな変革期を迎えております。メディアが多様化し、SNSが行き渡り、 コミュニケーションのあり方が大きく変わっています。コロナ禍を経たことで生活様式も変化し、さらにAIなどのテクノロジーが、加速度的に進化しています。このような変革期であっても、広告コミュニケーションの重要性は全く変わっていません。そして、役割はますます重要度を増しています。

この大会では、新しい時代の広告コミュニケーションの役割を皆様と考え、新時代の門を開きたいと考えています。全日本広告連盟は今後も「広告の元気は、ニッポンの元気。」をスローガンに、広告に携わる皆様とともに各事業を推進してまいります。

石川県知事

馳 浩 様

初めに奥能登を震源地とする地震におきまして、多くの皆様からお見舞いやご支援をいただき御礼申し上げます。そして、全日本広告連盟70周年を迎え、第71回大会が金沢で開催されましたことに、心からお祝いを申し上げます。しかし、なぜ石川大会ではなくて金沢大会なのか。これはとても大事なことだと思います。やはり、国際的に見ても石川県より金沢市のほうが知名度があり、広告の認知度でも、しばしば金沢の名前が石川より先に出ているからでしょうか。

知事になる前、長い間、国会議員として仕事をさせていただき、「金沢県ですね」と言われることはよくありました。その度に、「石川県です」と小さな声で言い返してきましたが、金沢だけでなく石川県全体をアピールするために、広告でもどのように伝えていけばインパクトがあるのか。知事として、常にそのことを意識しながら取り組んでいかなければいけないと思っています。

ところで、新たな技術が広告の世界にも及んでいます。石川県庁でも、チャットGPTとどう付き合うか検討を始めたところです。こうした新たな技術に広告業界がどのように対応されるのかにも注目しています。今朝の北國新聞のラッピング広告には、伝統的な水引が施されていました。クリエイティブの方々には、伝統を踏まえた上で新たな創造を生み出すことを期待しています。

金沢市長

村山 卓 様

行政の広報には大きな役割があります。コロナ禍によって、人々の価値観が変わり、考え方が多様化したことに加え、デジタル化も進んでいます。「伝えたい人に伝えたい情報をどのように伝えるか」が、ますます大事になっていると考えており、文章やデザイン、映像で人々にメッセージを伝える大会が本日、金沢で開かれるのは大変意義深いと感じています。

この地では、一昨日までG7富山・金沢教育大臣会合が開かれていました。間を置かずにこのような大会が開かれることは、金沢が全国的な都市として認知されたものと喜んでいます。また、2024（令和6）年3月には、北陸新幹線が福井県敦賀市まで延伸し、石川県内全線開業となりますので、さらに大きなチャンスであると捉えています。

ぜひ、今大会を機に金沢を知っていただくとともに、10月、11月には「第38回国民文化祭」「第23回全国障害者芸術・文化祭」が行われますので、金沢再訪を心待ちにしております。以前、金沢に来たという人もたくさんいらっしゃると思います。何度来られても、新しい発見がある金沢の魅力づくりに、我々も一生懸命、取り組んでまいりたいと思っております。

第11回　全広連日本宣伝賞

Award

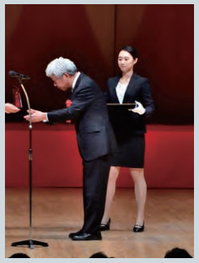
松下賞

サントリーホールディングス株式会社代表取締役社長
新浪 剛史 様

（株）三菱商事を経て、2002年より（株）ローソン代表取締役社長兼CEOとして、卓越した経営手腕で業務改善に成功。2014年よりサントリーホールディングス（株）代表取締役社長。海外戦略を推し進め事業拡大するとともに、広告コミュニケーションを積極的に活用して、プレミアム商品、ハイボールなど新しい市場を成長させて、広告業界の活性化に大きく寄与。広告の社会的価値に重きをおきながら、質の高い広告コミュニケーションを継続し、コロナ禍の飲食店を応援する企業広告「人生には、飲食店がいる。」は、広告電通賞、朝日広告賞、TCC賞など数多くの広告賞を受賞。広告界全体の発展に多大な貢献をしている。

正力賞

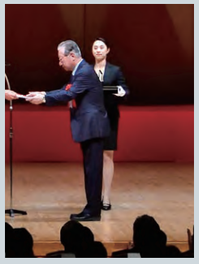
吉本興業ホールディングス株式会社代表取締役会長
大﨑 洋 様



2009年吉本興業ホールディングス（株）代表取締役社長を経て、2019年より現職。2022年創業110周年を迎えた同社で、長年にわたり、多様化するメディア環境に柔軟に対応しながらさまざまなプロジェクトを成功させ、エンターテインメント業界を支えてきた。タレントマネジメントのほか、スポーツエージェント、テレビ番組制作、デジタルコンテンツ制作、沖縄国際映画祭・京都国際映画祭を開催し、47都道府県で地域映画やJIMOTCMを制作。多彩なジャンルのコンテンツビジネスを手掛け、業界の発展に大きく寄与。2021年「地方創生」をコンセプトに「BSよしもと」を開局し、日本全国・アジアで活動する「住みます芸人」が地域の魅力を発信するなど、地域活性化にも積極的に取り組んでいる。

吉田賞

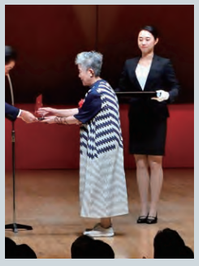
株式会社エヌケービー／株式会社ぐるなび取締役会長・創業者
滝 久雄 様



1985年（株）エヌケービー代表取締役社長、2011年より現職。1999年（株）ぐるなび代表取締役会長兼社長、2019年より現職。長年、交通広告の発展に携わり、社の収益を文化芸術や若者の教育に還元するなど、社会貢献にも積極的に取り組む。また、（公財）日本交通文化協会理事長として、日本を代表する画家の作品をステンドグラスや陶板レリーフとして駅、空港、学校などの公共空間に設置するパブリックアートの普及につとめている。1996年「ぐるなび」事業を開始し、飲食店検索サービスの先駆者として業界を牽引。利用者の利便性を高めると共に飲食業界の活性化に寄与。2020年文化功労者顕彰。食文化を維持・発展させるビジネスモデルを構築、広告をはじめ広く文化発展に貢献した功績は大きい。

山名賞

クリエイティブディレクター
小池 一子 様



1960年代以降、日本のクリエイティブ領域の黎明期をコピーライター、編集者、クリエイティブディレクターとして広告界の向上・発展に貢献。1980「無印良品」の創設に携わり、「わけあって、安い」のコピーで、生活の原点を見直すことを消費者に問い掛けた。1983年「佐賀町エキジビット・スペース」を創設・主宰し、多くの現代美術家を国内外に紹介。2012年「田中一光とデザインの前後左右」他、通の展覧会の企画・ディレクションを手掛ける。2022年「オルタナティブ！小池一子展 アートとデザインのやわらかな運動」など、時代とともにあり続けるさまざまな活動は、日本のクリエイティブの歴史であり、功績は贈賞に値する。

受賞者謝辞

松下賞

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長新浪剛史様代理
コミュニケーションデザイン本部 宣伝部長
鈴木 あき子 様

本年は当社にとって、ウイスキー造り100周年、ビール事業60周年を迎えました。その節目の年に、当社ともご縁のある松下幸之助氏の名前を冠した賞をたまわり、大変光栄に思っております。この場を借りて当社の広告活動において多大なるお力添えをいただいている関係者の皆様に感謝と敬意を表します。

私たちはこの3年間、コロナ禍など激動の時代を生き抜いてきました。わずかな先さえ読むことが難しい不確実な時代において、社会から企業姿勢を厳しく見られるようになり、企業姿勢が商品選択の理由になっていると強く感じます。

今回、受賞した「人生には、飲食店がいる。」という企業広告は、コロナ禍において飲食文化を守らなくてはならないという思いを込めています。皆様にこの思いと姿勢を評価いただいたことをうれしく思います。この受賞を私たちへの激励と捉え、今後も広告業界のさらなる発展のために尽力してまいります。

正力賞

吉本興業ホールディングス株式会社
代表取締役会長
大﨑 洋 様

小さな時から賞というものに全く縁がなかったので受賞は本当にうれしいです。今日は、20年ほど前に友人からもらったパブロ・ピカソが愛用していたというスーツを着てまいりました。朝、張り切ってホテルの部屋でスーツに着替えたところ、足もとの靴が泥だらけで、カビも生えていました。

慌てて靴磨きで一生懸命、磨いていたところ、この靴で人や物などを蹴っ飛ばしたり、踏みにじったりしたのではないかと少し反省していました。今日は前向きに歩こうと思い直す日にしたいと思います。

吉田賞

株式会社エヌケービー／株式会社ぐるなび
取締役会長・創業者
滝 久雄 様

当社が収益を文化芸術や若者の教育に還元するなど、社会貢献に積極的に取り組んできたことに対して評価をいただき、大変うれしく思っております。

私は常々、成熟社会となった日本は、経済成長から文化芸術の国づくりへと転換すべきと考えています。文化芸術の振興への取り組みの一つとして続けているのが、駅や空港、公共施設、学校、公園などの公共空間にパブリックアートを設置する活動です。

今年で51年目となり、日本を代表するアーティストの方に作品を作っていただき、日本全国に大型ステンドグラスや陶板レリーフとして飾ってきました。石川県の小松空港にも、元スタジオジブリの米林宏昌監督による子供歌舞伎をテーマにしたステンドグラスが設置されています。

文化という点では、食文化も大切だと考えています。インターネット黎明期の1996年に飲食店検索サービス「ぐるなび」を立ち上げたのは、日本の素晴らしい食文化を守り育てたいとの思いからでした。

これからの時代は、文化と農業と観光の3つが日本の切り札になると私は信じています。世界を魅了してきた日本の文化芸術、日本人の繊細な味覚や料理技術と農産物が支える日本の食文化が、日本の社会、経済、産業を支えていくでしょう。

山名賞

クリエイティブディレクター
小池 一子 様

私たちの時代のヒーローであった建築家のバックミンスター・フラーが、地球という家を一つの宇宙船と見立た「宇宙船地球号」という概念を残してくれました。宇宙船地球号の地球も、現在はデジタルな惑星であるのだろうと思います。

私たちは20世紀の仕事を生み出してきましたが、これからデジタルな惑星を担っていく皆さんには、「クリエイティビティを発想し、作る喜び」を考えの中心に置いていただき、今までの文化を受け継いで、大きく発展させていただければと願っております。

第2回 鈴木三郎助全広連地域広告大賞

最優秀賞およびプリント部門賞

受賞者　株式会社沖縄タイムス社様
株式会社琉球新報社様
（社名 50 音順）

受賞作　「ハブとマングースの対話」（新聞）

推薦協会　沖縄広告協会

［ **受賞理由** ］
2022年5月、沖縄の本土復帰50周年の節目を記念して、ライバル新聞社2社が協力し、対立関係の象徴とされるハブとマングースを反戦のモチーフとして、争いをやめて平和な世界を目指そうというメッセージ広告を発信した。掲載直後から大きな反響があり、SNSでも意見の発信や議論が繰り広げた。世界においても軍事侵攻などの大きな問題を抱える中、沖縄ならではのモチーフを生かした地域性と独創性、ライバル2社がジャーナリズムを伝える姿勢を示し、プリント部門という枠だけに収まらない、他のメディアへの広がりも見据えた点が高く評価した。

受賞者謝辞

株式会社沖縄タイムス社
代表取締役社長
武富 和彦 様

今回の受賞は、非常にうれしく思っています。全広連70周年の年に、弊社も創刊75周年を迎えることができました。節目の年に、このような大きな賞をいただけるのは、社員にとっても励みとなります。

皆さんご存じのように、沖縄タイムス社と琉球新報社は、ライバル関係にあります。そういう関係性があったからこそ、広告大賞を受賞できたのだと思います。両社が協力して広告を作る手法もあるのだと認識した次第です。

戦う時は戦い、手を取り合うときは手を取り合いながら、評価いただける広告を世に送り出したいと思ってます。今回は、地域性と独創性、そして世界のあちこちで紛争が起こっていますので、そういう時代性も考慮されたのでしょう。

とりわけ新聞業界は元気がないように言われています。今回の新聞広告では、SNSで拡散されるなど、まだできることがあるということを実感することができました。デジタルやSNSに圧倒されるのではなく、むしろ巻き込むような発想で、これからも新聞広告を通して、地域の活性化に努めていきたいと思います。

株式会社琉球新報社
代表取締役社長
普久原 均 様

本日は、すばらしい賞を受賞させていただき、本当にありがとうございます。受賞した作品は、ADK様が企画、発案されたもので、昨今、新聞広告を手がける頻度が少なくなり、新聞広告を経験したことがない若手社員にチャンスを与えたいと企画していただきました。

私は、出来上がった作品を一目見て感動し、ぜひとも掲載したいと思いました。新聞は、時代への批判精神や風刺の精神があると思います。その新聞の特性を生かし、非常にユーモラスで温かみのある素朴な広告に仕上げていただきました。ただ、弊社の中では、新聞の一面に大きなハブとマングースの写真がドンと載ると、読者が驚くのではないかという慎重論が一部、ありました。そこで、写真からイラストに変更して掲載にいたりました。ADK様にはこのような素晴らしい作品を作っていただき、この場を借りて御礼申し上げたいと思います。

琉球新報社と沖縄タイムス社は、戦後から厳しい競争を続けてまいりました。この受賞を機に一気に仲良くというのはなかなか難しいとは思いますが、ハブとマングースに笑われないように、協力すべき点は協力し、競い合う面は競い合って切磋琢磨してまいります。

プリント部門賞

受賞者　株式会社 田子重様
受賞作　「本日の目玉!!正社員大募集」（新聞）
推薦協会　静岡県広告協会

フィルム・オーディオ部門賞

受賞者　社会福祉法人 村上岩船福祉会様
受賞作　「村上岩船福祉会リクルーティングムービー【season2】」（動画）
推薦協会　新潟広告協会

フィルム・オーディオ部門賞

受賞者　岡山トヨペット 株式会社様
受賞作　「初心にかえろう岡山県」（CM）
推薦協会　岡山広告協会

チャレンジ部門賞

受賞者　宗教法人 善導寺様
受賞作　「光明山 悟真院 善導寺広報企画」（動画、WEBサイト、アプリケーション）
推薦協会　山陰広告協会

チャレンジ部門賞

受賞者　株式会社 青柳総本家様
受賞作　「乗ろう! ういろう! おめでとう! 新幹線のぞみ30周年」（ポスター、SNS）
推薦協会　一般社団法人 愛知広告協会

キャンペーン部門賞

受賞者　株式会社 山陰中央新報社様
受賞作　「新聞を配ることは、気を配ること。」（新聞、テレビ、ラジオ、ポスター）
推薦協会　山陰広告協会

キャンペーン部門賞

受賞者　セイカ食品 株式会社様
受賞作　「南国白くま　巨大電車広告」（OOH）
推薦協会　福岡広告協会

式典風景

金沢の新旧の伝統文化を紹介するオープニングビデオ

広告関係者に歓迎の気持ちを伝える砂塚隆広組織委員会大会長

開会を宣言する福光松太郎組織委員会委員長

日本の宣伝広告業界をけん引した人物に送られる第11回全広連日本宣伝賞の表彰式

地域から宣伝広告の素晴らしさを伝えた広告などに贈られる第2回鈴木三郎助全広連地域広告大賞の表彰式

金沢芸妓が日頃の練習の成果を披露しました

司会を務めた石川テレビ放送・稲垣真一アナウンサーと北陸放送・兵藤遥陽アナウンサー

■ 次年度開催地代表挨拶

公益社団法人東京広告協会理事長
大平 明 様

2024年は東京で開催

皆様ご存じのように、2025年には福井大会が開催されます。ただ、2024年の大会の開催地は決まっておりませんでした。確かに、大会開催には大変な労力と準備が必要です。

そのような中で、全日本広告連盟の専務理事や常務理事、事務局長が全国を回り、各地の広告協会の役員と対話を重ね、これからの全日本広告連盟大会はどうあるべきかを議論させていただきました。

その結果、2024年につきましては、東京で開くことに決定いたしました。アフターコロナの世界がどのような形になるのかは、全く予想がつかないわけですが、サステナブルな全国大会とし、今後も地方開催を継続していく方向で検討しております。

東京大会は1日だけの開催となりますが、「シンプル」「スモール」「ビューティフル」をキーワードに、全国から来ていただく広告関係者の方々に、来てよかったと思っていただける大会となるよう準備を進めているところです。ぜひ来年、参加していただきますようお願いいたします。

信長は飛び抜けた広告センスの持ち主

テーマ
「戦国を生き抜いた武将たち」
直木賞作家　**安部龍太郎** さん

あべ・りゅうたろう

1955（昭和30）年、福岡県生まれ。90年に「血の日本史」で作家デビュー。2005年に「天馬、翔ける」で中山義秀文学賞、13年に七尾出身の画聖、長谷川等伯の生涯を描いた「等伯」で直木賞。「関ケ原連判状」「信長燃ゆ」「十三の海鳴り」など歴史小説の大作を次々と発表。長谷川等伯を顕彰する「等伯会」の名誉会長も務め、2月24日の「等伯忌」には毎年、法要をかねて七尾市を訪れるなど、石川県とは深いゆかりで結ばれる。今年1月より北國新聞朝刊で、加賀藩祖前田利家と2代利長親子を主人公に戦国期を描く「銀嶺のかなた―利家と利長」を連載中。

時代の転換を旗印でアピール

皆さんは広告の専門家ですから、建築物の広告的な価値の重要性もご存じでしょう。織田信長の造った安土城は、戦国時代に広告の粋を集めた作品だと言えます。この視点に立つと、信長が実現しようとした理念や理想までが見えてくるからです。

安土城は、琵琶湖の水面から150メートルの位置に天主閣がありました。まさに「天空の城」です。一般的には天守閣と書きますが、安土城は「天主閣」と書きます。天の主、つまり自分が天下人となったことをアピールするためのシンボルにしたのです。

戦場の手柄で立身出世を図る戦国武将の中でも、信長の広告センスは飛び抜けていました。その象徴が「天下布武」の印で、自分が目指す理想をキャッチコピーにして印鑑にしたようなものです。また、旗印には、黄色の生地に「永楽通宝」の文字が黒く染め抜かれています。「これからの世はお金の時代になるのだ」と信長は伝えたかったに違いありません。

戦国時代の武将にとって領地が、経済力や政治力の基盤でした。片や信長は、尾張の津島など2つの港を拠点に伊勢湾一帯の海運を一手に掌握したことで、財力をより強固にしました。この頃、経済構造が農業から商業へ転換していく時期でもあり、信長はその流れをいち早くキャッチし、永楽銭を旗印に用いたのです。

八角形にこめた信長の強い意志

安土城は5層7階建てで、第4層は白い壁に赤い柱を用いた神社のような造りです。最上階の第5層は、四角形で金箔が施されています

近年の研究で第4層と最上階の関係性が分かってきました。それは中国の皇帝の宮殿をまねたものであり、古代中国・周王朝時代には、その場所を明堂と呼んでいました。明堂は3階建てで、1階部分が円、2階部分が方形、3階部分が八角形でした。ちなみに、天皇が即位する際に使用される高御座（たかみくら）も八角形です。

つまり、八角形をした建物は皇帝が着座する場所であり、信長は安土城に明堂に似せた建物を乗せ、「ここに日本の皇帝が住んでいる」ということを天主閣という表記だけでなく、建物の形からも強烈に周知しようとしたわけです。

外国に飲み込まれるとの危機感

信長は、迫り来るポルトガルやスペイン、オランダなどの脅威に対抗するため、一刻も早く、戦乱の世を終わらせ、新しい統一国家をつくろうとしました。

その国づくりの手本としたのが、中国・唐の律令制でした。「律＝刑法」「令＝行政法」によって国を治める「法治国家」を確立し、土地の私有を認めない「公地公民制」で国民から税金を集め、官僚主義による中央集権体制を取ろうとしました。信長が中国の皇帝に近づこうとした理由も、これで腑に落ちます。

信長にはさまざまな評価があります。例えば、比叡山延暦寺の焼き討ち、越前や加賀、伊勢の長島などでの一向一揆の殺りくは、〝第六天の魔王〟と呼ばれるほど極悪非道な行為です。

一見、全てを焼き尽くす破壊者のように思われますが、日本を早く新しい国にしなければ外国に飲み込まれてしまうとの危機感を持った、非常に冷静でストイックな人だったとも言えます。それほどまでして信長が先を急がなければならなかったのは、世界が大航海時代を迎えていたからです。

イエズス会の野望に対抗

信長が天下を取ったのは、最強と恐れられていた武田軍団を長篠の合戦でせん滅したように、鉄砲のおかげというのが一般的な理解です。しかし、その鉄砲に不可欠な火薬と鉛はどこから調達したのでしょうか。黒色火薬の原料である硝石は全て東南アジアからの輸入であり、鉛も4分の3が輸入品でした。

そういった南蛮貿易に深く関与していたのがポルトガルの支援を受けたイエズス会でした。彼らは布教以外に外交官と商社マンの役割も果たしており、戦国大名が火薬と鉛を手に入れたければ、イエズス会に仲介を頼むしかありませんでした。九州方面の大名がこぞってキリシタンとなった理由もここにあります。

進出した国々で自分たちの思い通りになる政権をつくり、植民地化していくのが、イエズス会の常套手段でした。信長は、この野望を見抜き新しい国づくりを急ぎましたが、本能寺の変によって志半ばで亡くなりました。

信長が目指していた国家観に賛成するか、反対するか。日本史において、天皇の上に立とうとしたのは、おそらく平清盛、足利義満、信長の3人しかいません。3人はいずれも非業の死を遂げており、私には、それを許さないという意識が日本人のメンタリティーの中にあるように思えてなりません。これこそが、本能寺の変が起きた最大の理由ではないかと思っています。

全広連創立70周年記念トークセッション
テーマ『経営者と向き合うクリエイティビティ』

●パネリスト

佐々木 康晴氏
株式会社電通 統括執行役員
チーフ・クリエーティブ・オフィサー

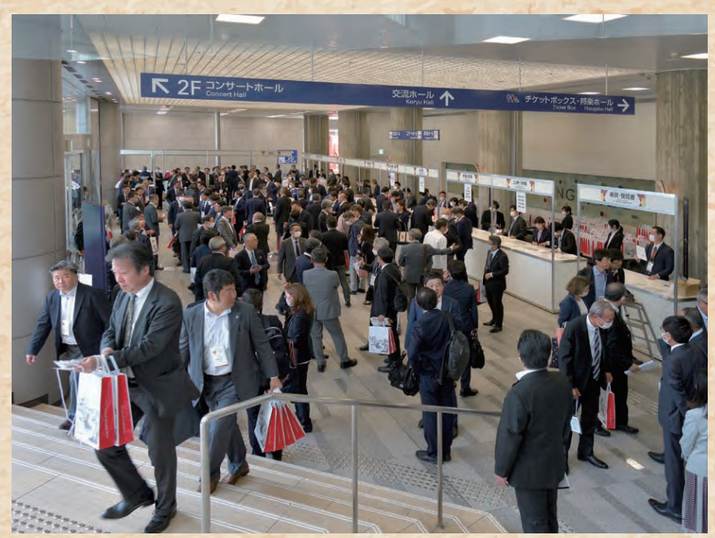
石川 善樹氏
公益財団法人Well-being for Planet Earth代表理事
予防医学研究者、博士（医学）

小布施 典孝氏
株式会社電通 Future Creative Center センター長

太田麻衣子氏
株式会社博報堂執行役員
株式会社博報堂クリエイティブ・ヴォックス 代表取締役社長

水口 克夫氏
株式会社Hotchkiss代表
アートディレクター
金沢美術工芸大学名誉客員教授
京都芸術大学大学院特任教授

会場風景



全国各地から1000名の方が来場されました

石川県立音楽堂正面口前の
大会サインボード

全広連日本宣伝賞を受賞した4氏の略歴と功績を解説

石川県の新聞各紙を配布し、
読み比べていただきました

第2回鈴木三郎助全広連地域広告大賞の
最優秀賞「ハブとマングースの対話」

第2回鈴木三郎助全広連地域広告大賞の
最優秀賞と優秀賞を紹介

式典と記念講演、トークセッションの会場となった
石川県立音楽堂のコンサートホール

オープニング開始直前のコンサートホール

オープニングアトラクションで金沢素囃子を
披露するひがし・にし・主計町の芸妓衆

お土産コーナーでは和菓子や和小物を販売しました

オーケストラアンサンブル金沢のメンバーも
音色を響かせました

3種類の弁当を用意しました

昼食会場では、出席者は会話を楽しみながら、
金沢の味を堪能しました

懇談会

懇親会場に入ると金沢三茶屋街の芸妓がお座敷太鼓でお出迎え

福光松太郎組織委員長の発声で乾杯

地酒コーナーでは石川の酒蔵の銘酒を用意

懇親会にも皆様にご来場いただきました

司会を務めたテレビ金沢・塚田誉アナウンサーと
北陸朝日放送・森重有里彩アナウンサー

皆様のご歓談が始まると踊りを披露

石川の海の幸を寿司で堪能していただきました

金沢カレーなども用意

石川の美味を堪能していただきました

石川のおいしい料理が語らいの盛り上がりに一役買いました

芸妓とのトークも金沢
ならでは

懇親会でより一層絆を深めていただきました

新たな出会いがコラボレーションを生みそうです

視察・見学会プラン

5月18日㊍

いしかわの「歴史」「文化」「人」とのめぐりあいをテーマに、日帰り2コース、貸し切りタクシー3時間コースの計3コースをご用意し、全国の広告関係者が石川の歴史や工芸、建築をはじめとした文化の魅力を味わいました。

プラン一覧

01 加賀めぐりあい旅

白山比咩神社では、加賀一の宮としての風格ある社殿などを見て回り、白山信仰の一端を垣間見ました。那谷寺では、本殿のある岩窟内の「胎内くぐり」を体験したほか、国名勝「奇岩遊仙境」の絶景を眺めました。このほか、能美ふる里ミュージアムや日本自動車博物館も訪ねました。

白山比咩神社10:00~10:30→能美ふる里ミュージアム11:00~11:30→昼食（長沖）12:00~13:00→那谷寺13:40~14:30→日本自動車博物館14:50~15:30→小松空港16:00→JR金沢駅16:50

02 金沢めぐりあい旅

谷口吉郎・吉生記念金沢建築館では迎賓館赤坂離宮の「游心亭（ゆうしんてい）」を再現した広間などを見学し、金沢の建築文化の粋に触れました。また、国立工芸館では金沢出身の漆芸家で文化勲章受章者の松田権六氏の仕事場や、開催中の企画展「ポケモン×工芸展 美とわざの大発見」（北國新聞社後援）を見て回りました。新しくなった県立図書館や成巽閣（せいそんかく）、ひがし茶屋街も訪ねました。

谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館9:30~10:10→石川県立図書館10:30~11:10→昼食（市内料亭）11:30~13:10→国立工芸館13:20~14:10→14:20~15:00→ひがし茶屋街15:10~15:50→JR金沢駅16:10

03 貸切タクシーで金沢の名所と哲学の道ふれあう3時間コース

3時間コースでは、歴代藩主が莫大な財力をかけて作庭し続けた日本三名園のひとつである兼六園を訪れ、大名庭園の美しさを見学しました。鈴木大拙館では、金沢出身の世界的な仏教哲学者・鈴木大拙の思想やその人となりを学んだほか、金沢市立中村記念館、松風閣庭園にも足を運びました。

兼六園9:20~10:00→美術の小径→金沢市立中村記念館10:20~10:50→鈴木大拙館→加賀藩の重臣・本田家「松風閣庭園」11:00~11:45→JR金沢駅12:00

懇親ゴルフ大会

松林の自然美と起伏に富んでいるのが片山津ゴルフ倶楽部の特徴です。「白山コース」で行われた懇親ゴルフ大会には21組82名の皆様が、紺碧の青空のした、ナイスショットを放つなど、情報交換しながら親交を深めました。

大会役員・委員

会　長

砂塚　隆広　（株）北國新聞社　代表取締役社長

副　会　長

浜崎　英明　（株）北國銀行　特別顧問
寺口　時弘　（株）大和　代表取締役専務
石野　弘幸　（株）金沢丸越百貨店　常務取締役
前田　昌彦　（株）中日新聞社北陸本社　取締役北陸本社代表
吉藤　　徹　北陸放送（株）　代表取締役社長
林　　寛子　石川テレビ放送（株）　代表取締役社長
原田　哲哉　（株）テレビ金沢　代表取締役社長
能田　剛志　北陸朝日放送（株）　代表取締役社長

顧　問

馳　　浩　石川県　知事
村山　　卓　金沢市　市長
金井　　豊　北陸経済連合会　会長
飛田　秀一　（株）北國新聞社　代表取締役会長
安宅　建樹　石川県商工会議所連合会　会頭
要明　英二　石川県自動車販売店協会　理事相談役

組　織　委　員　会

福光松太郎　（株）福光屋　代表取締役社長

事　務　局　長

長嶋　宏明　（株）電通西日本金沢支社　シニアプロジェクトマネージャー

事　務　局　次　長

真鍋　　睦　（株）電通西日本金沢支社　支社長
越島　靖子　（株）エフエム石川　代表取締役社長
仙台　史明　（株）北陸博報堂　代表取締役社長
竹内　拓也　（株）日本エージェンシー　代表取締役社長
北川　　淳　（株）北広　代表取締役社長
松本　浩平　（株）アドマック　代表取締役社長
森井　　勝　（株）伝広社　代表取締役社長
浜中　豊和　（株）北國新聞社　営業局長

事　務　局　次　長　補　佐

谷内　一夫　（株）ケィ・シィ・エス　代表取締役社長

総　務　部　会　長

岸　　哲也　北陸放送（株）　営業開発局長

副　総　務　部　会　長

中島　隆司　（株）大広北陸　代表取締役社長
松本　浩平　（株）アドマック　代表取締役社長
田中　喜之　（株）北陸スタッフ　代表取締役社長

式　典　講　演　部　会　長

井家　　通　石川テレビ放送（株）　取締役営業本部長

副　式　典　講　演　部　会　長

渡邊　　護　（株）中日新聞社北陸本社　営業局次長兼広告部長
山下　郁雄　（株）一創　営業部長

宿　泊　見　学　部　会　長

高僧　裕伸　北陸朝日放送（株）　取締役営業局長

副　宿　泊　見　学　部　会　長

安田　正雄　読売新聞東京本社北陸支社　部長
松井　　渉　ヨシダ宣伝（株）　代表取締役社長
森　　文厚　ほっこく観光（株）　代表取締役社長
久保　幸男　北陸観光開発（株）（片山津ゴルフ倶楽部）　代表取締役社長
松本　吉永　読売エージェンシー中日本金沢支社　支社長

懇　親　部　会　長

佐藤　政治　（株）テレビ金沢　常務取締役

副　懇　親　部　会　長

野村　　亮　（株）ケィ・シィ・エス　業務部長
吉田　勝則　（株）伝広社　専務取締役

（敬称略）

協賛

石川テレビ放送（株）、（株）中日新聞社北陸本社、（株）テレビ金沢、（株）電通西日本金沢支社、北陸朝日放送（株）、（株）北陸博報堂、北陸放送（株）、（株）北國新聞社

（50音順）

金沢広告協会　会員社

広告主

石川県自動車販売店協会
石川車輌販売（株）
石川トヨタ自動車（株）
（株）石川トヨペットカローラ
HYホテルマネジメント（株）
ANAクラウンプラザホテル金沢
（株）加賀屋
（株）金沢東急ホテル
金沢商工会議所
金沢信用金庫
ANAホリデイ・イン金沢スカイ
金沢ニューグランドホテル
金沢ハウジングセンター協会
（株）金沢丸越百貨店
キリンビール（株）北陸支社
（株）柴舟小出
三東観光（株）千里浜カントリークラブ
サントリー（株）北陸支社
サントリービバレッジソリューションズ（株）
全国農業協同組合連合会石川県本部
（株）太陽企画
（株）大和
大和ハウス工業（株）金沢支社
（株）玉家建設
（株）つば甚
なるわ交通（株）
（株）福光屋
北陸観光開発（株）
（株）北陸銀行
北陸鉄道（株）
北陸電力（株）
北陸ミサワホーム（株）
ホテル日航金沢
北國観光（株）
（株）北國銀行

媒体

石川テレビ放送（株）
（株）エフエム石川
（株）北日本新聞社金沢支社
北日本放送（株）金沢支社
（株）中日新聞社北陸本社
（株）チューリップテレビ金沢支社
（株）テレビ金沢
富山テレビ放送（株）金沢支社
（株）福井新聞社北陸支社
福井テレビジョン放送（株）金沢支社
福井放送（株）金沢支社
北陸朝日放送（株）
北陸放送（株）
（株）北國新聞社
（株）ほっこくリビング新聞社
（株）読売新聞東京本社北陸支社

広告業

（株）ADKマーケティング・ソリューションズ
　北陸オフイス
（株）アドセンター
（株）アドマック
石川テレビ企業（株）
（株）一創
（株）金沢広告
（株）香輪社
（株）JR西日本コミュニケーションズ北陸支社
（株）ジェイアール東日本企画北陸支社
（株）JTBコミュニケーションデザイン
　コーポレートソリューション部プロ
　モーション第二事業局
（株）セ・ビアン
（株）大広北陸
（株）中日広告社
（株）ティーツゥーブレーンズ北陸
（株）伝広社
（株）電通西日本金沢支社
（株）日本エージェンシー
（株）北鉄航空
（株）北陸アイティエス
（株）北陸スタッフ
（株）北陸博報堂
（株）北陸読売IS
（株）北広
（株）マイナビ石川支社
（株）読売エージェンシー中日本金沢支社

印刷・デザイン業

（株）刊広社
（株）ショセキ
（有）ジン・デザイン・オフィス
スタジオM
（株）ダイトクコーポレーション
（株）大和印刷社
長田広告（株）
（株）バルデザイングループ
（株）フェローズ金沢支社
（株）丸藤

その他

（株）アドバンス社
（株）オトムラ
（株）金沢映像センター
（株）金沢舞台
（株）グルーヴィ
（株）ケィ・シィ・エス
（株）サウンドソニック
（株）シ・ピ・エル
（有）ゼスト
ナカダ（株）
（一財）日本気象協会北陸支店
（株）FIX
（株）ホクスイ
北配電業（株）
（株）北陸メディアセンター
（株）ミュージッククラブ
ヨシダ宣伝（株）
（有）ライターハウス

全広連創立 70 周年記念　第 71 回全日本広告連盟金沢大会　参加者数および運営協力スタッフ数

大会参加者数	1,000 名
	5 月 18 日　見学会参加者数（全 3 コース）：78 名
	5 月 18 日　懇親ゴルフ会：21 組　82 名

会員社運営協力スタッフ（大会期間中）　のべ 34 名